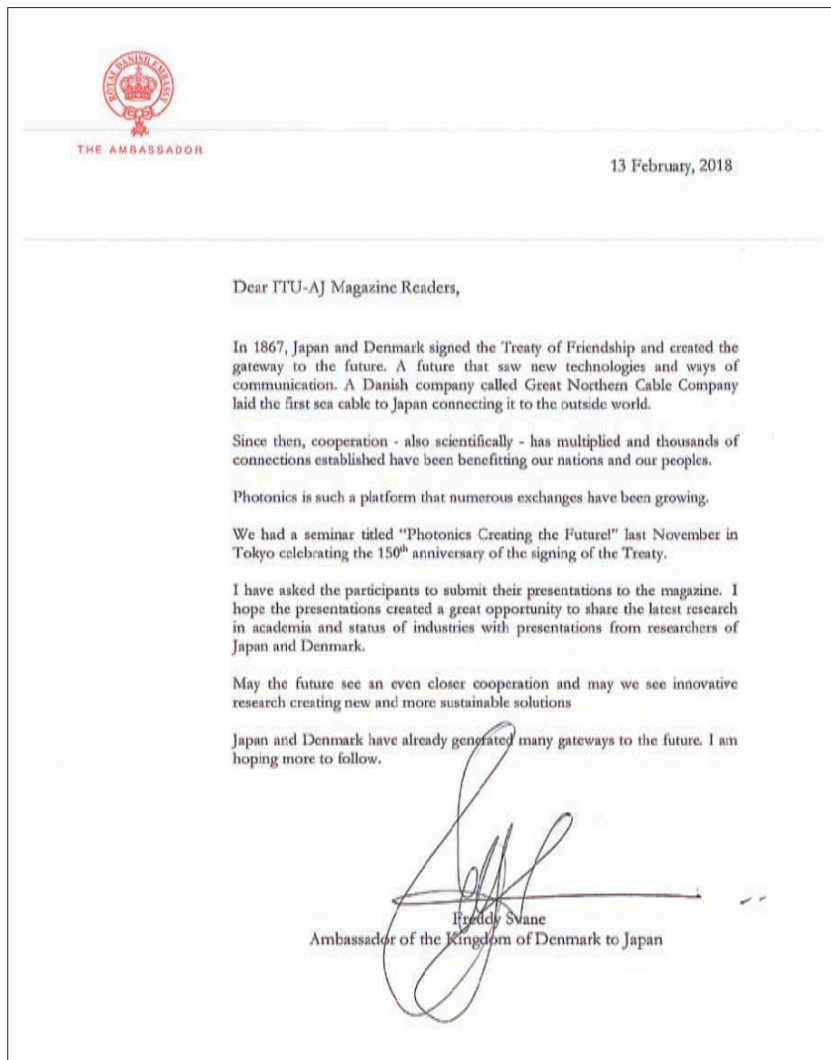




## 日本ITU協会機関誌読者の皆様へ



駐日デンマーク王国大使

フレディ・スヴェイネ

### 日本ITU協会機関誌読者の皆様へ

1867年に日本とデンマークは修好条約を締結し、未来への扉を開きました。そして新しい技術と様々な通信手段がもたらされました。デンマークの大北電信会社は日本と海外を結ぶ海底ケーブルを初めて敷設しました。

それ以来、日本とデンマークは科学分野を含む様々な分野で協力を深め、関係を強化し、現在に至るまで、両国・両国民に様々な利益をもたらしました。

光通信技術は、そうした多くの交流を生み出してきた基盤なのです。

昨年11月、東京で日本とデンマークの外交関係150周年を記念し、「Photonics Creating the Future!」と題したセミナーを開催しました。

私は、セミナーにご参加いただいた皆様に、日本ITU協会の機関誌への寄稿をお願い申し上げました。両国の研究者によるこの資料が、日本とデンマークにおける最新の学術研究や産業動向に関する研究の成果を共有する機会となることを願っています。

今後、両国が一層協力を強化することで、新しい、持続可能な解決策を生み出す革新的な研究が進むことを期待しています。

日本とデンマークは、これまで未来に向けた多くの扉をともに開いてきました。今後もそれが続くことを願っています。

駐日デンマーク王国大使 フレディ・スヴェイネ